

科目名 (英)	社会の理解	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	黒澤 芳恵
	Comprehension of social system						
学科・コース	介護福祉士科	授業 形態	講義	総単位 時間	30時間	開講区分 曜日・時間	前期 水曜 3限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は高齢者や障害者の生活全般を支援する諸制度について学ぶ科目であり、利用者の生活を支えていくという観点から、必要な知識を身につけることを目的とした授業を行う。利用者を取り巻く環境や社会背景、日本の社会保障の考え方やしきみ、介護実践に必要な制度・施策等について理解を深めてほしい。また、講義や演習を通して一人ひとりが考え、それぞれの法制度について実践の場で通用する知識として身につけてほしい。							
【到達目標】							
個人、家族、地域、社会のしくみと、地域における生活の構造について学び、生活と社会の関わりや自助・互助・共助・公助の展開について理解できる。日本の社会保障制度の基本的な考え方としきみ、歴史や変遷について理解するとともに、社会保障制度の現状と課題等を学ぶことができる。高齢者に関する福祉制度の基本的な考え方としきみ、介護保険制度の内容を理解し、高齢者福祉の現状と課題等を学ぶことができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
・「介護福祉士国家試験ワークブック2024上」中央法規 ・「見て覚える！介護福祉士国試ナビ2024」中央法規				ワークブックや国試ナビの次の範囲を読み、予習をしましょう。また授業後もノートやプリントを振り返るなどの復習をし、学んだ内容を身につけましょう。			
回	授 業 概 要	回	授 業 概 要				
1	【到達目標】 前期の授業の進め方について理解する。 生活の構成要素と現代社会の課題を理解できる。 【授業内容】 オリエンテーション 家庭生活の基本機能	9	【到達目標】 介護サービス利用までの過程について理解できる。 【授業内容】 介護保険制度② 介護保険制度の利用までの過程				
2	【到達目標】 家族、地域社会の集団や組織について学び、利用者とのかかわりについて理解できる。 【授業内容】 家族の概念、構造、役割 地域の概念、集団・組織の種類や役割、地域の課題	10	【到達目標】 介護保険給付の種類について理解できる。 各介護保険サービスの内容について理解し、述べることができる。 【授業内容】 介護保険制度③ 介護保険制度の保険給付、介護保険サービス				
3	【到達目標】 地域福祉の理念や推進することの重要性を認識できる。 地域共生社会、地域包括ケアの理念や取り組みを理解できる。 【授業内容】 地域共生社会の実現に向けた制度や施策	11	【到達目標】 介護保険制度における利用者負担のしくみや軽減措置について理解できる。 【授業内容】 介護保険制度④ 介護保険制度の利用者負担				
4	【到達目標】 社会保障制度の基本的な考え方を理解できる。 社会保障制度の目的、機能、範囲や種類を説明できる。 【授業内容】 社会保障制度の概念、機能、体系など	12	【到達目標】 介護保険制度の介護保険料の内容を理解できる。 介護保険制度の財源について説明できる。 【授業内容】 介護保険制度⑤ 介護保険制度における保険料、財源のしくみ				
5	【到達目標】 戦後から現代に至るまでの社会保障制度の歴史を整理できる。 近年行われている社会保障改革の方向性を理解できる。 【授業内容】 日本の社会保障制度の発達と歴史 近年の社会保障改革	13	【到達目標】 地域支援事業について種類、内容を理解できる。 介護保険制度に関わる各組織の種類と役割について説明できる。 【授業内容】 介護保険制度⑥ 介護保険制度における地域支援事業 公的、民間組織の種類と役割				
6	【到達目標】 日本の社会保障制度のしくみを理解できる。 社会保障制度を支える負担と給付について理解できる。 【授業内容】 社会保障の実施体制、しくみ(実施方式、給付、負担の方法など) 社会保障給付費の推移と現状、社会保障全体の課題など	14	【到達目標】 介護保険制度にかかわる専門職の役割について理解する。 介護保険制度改正の流れと動向について整理することができる。 【授業内容】 介護保険制度⑦ 介護保険制度における専門職の役割 介護保険制度の改正のまとめ				
7	【到達目標】 高齢者保健福祉の歴史、課題、法体系について理解できる。 【授業内容】 高齢者保健福祉の動向 高齢者保健福祉に関連する法体系	15	【到達目標】 前期の授業を振り返り、疑問などを解消し、学習内容をより深めることができる。 【授業内容】 前期試験、解答解説、授業の振り返り				
8	【到達目標】 これまでの授業を振り返り、学習を深め、問題に答える。 介護保険制度創設までの過程、目的、理念等を理解できる。 【授業内容】 中間試験、解答解説 介護保険制度① 介護保険制度の基本的概念	【評価について】					
【特記事項】		筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数 100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)					
知識を積み重ねていくことが重要な科目です。小さな疑問でも早めに解消できるよう、どんなことでも質問してください。							

科目名 (英)	社会の理解 Comprehension of social system	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	黒澤 芳恵
	学科・コース 介護福祉士科	授業 形態	講義	総単位 時間	30時間	開講区分 曜日・時間	前期 水曜 3限
【実務経験】（担当する授業科目に関連した実務経験）							
【授業の学習内容】（どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか） 本科目は高齢者や障害者の生活全般を支援する諸制度について学ぶ科目であり、利用者の生活を支えていくという観点から、必要な知識を身につけることを目的とした授業を行う。利用者を取り巻く環境や社会背景、日本の社会保障の考え方やしくみ、介護実践に必要な制度・施策等について理解を深めてほしい。また、講義や演習を通して一人ひとりが考え、それぞれの法制度について実践の場で通用する知識として身につけてほしい。							
【到達目標】 障害児・者に関する福祉制度の変遷や基本的な考え方としくみ、障害者総合支援法の内容を理解し、現状、課題等をとらえることができる。 人間の尊厳と自立に関わる権利擁護や、介護実践に関連する制度・施策の基本的な考え方と具体的内容について理解することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「介護福祉士国家試験ワークブック2024上」中央法規 ・「見て覚える！介護福祉士国試ナビ2024」中央法規				【授業外における学習】 ワークブックや国試ナビの次回の範囲を読み、予習をしましょう。また授業後もノートやプリントを振り返るなどの復習をし、学んだ内容を身につけましょう。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 後期の授業の進め方について理解する。 障害者福祉制度の概念について具体的に理解できる。 【授業内容】 オリエンテーション 障害者福祉の動向、障害者の定義			9	【到達目標】 公的年金保険の概要を学び、国民年金と厚生年金の給付と負担、財源等について理解できる。 【授業内容】 介護実践に関連する諸制度① 年金保険の基本的な概要		
	【到達目標】 障害者福祉制度の変遷について理解できる。 障害者保健福祉の法律の全体像を把握することができる。 【授業内容】 障害者福祉制度の変遷 障害者保健福祉制度の法制度				【到達目標】 公的医療保険の概要を学び、種類、給付と負担、財源等について理解できる。 【授業内容】 介護実践に関連する諸制度② 医療保険の基本的な概要		
3	【到達目標】 障害者総合支援法の理念、基本的枠組みについて理解できる。 障害者総合支援法における障害者の定義を理解する。 【授業内容】 障害者総合支援制度① 障害者総合支援制度の創設の背景や目的、理念 制度における障害者の定義			11	【到達目標】 労災保険、雇用保険について概要を理解できる。 生活保護制度の種類、内容、手続き、動向等について理解できる。 【授業内容】 介護実践に関連する諸制度③ 労災保険、雇用保険の基本的な概要 生活保護制度の概要		
	【到達目標】 障害福祉サービス利用までの過程について説明できる。 【授業内容】 障害者総合支援制度② 障害福祉サービスの利用までの過程				【到達目標】 権利擁護に関するさまざまな法制度と実態について学び、利用者を守る視点を理解できる。 【授業内容】 介護実践に関連する諸制度④ 権利擁護の諸制度（成年後見制度、虐待防止法、消費者保護など）		
5	【到達目標】 障害者総合支援法における給付・事業の種類と内容について説明できる。 【授業内容】 障害者総合支援制度③ 給付・事業の種類、内容			13	【到達目標】 介護領域に関わる保健医療、地域生活を支援する法制度について理解できる。 【授業内容】 保健医療の各制度、生活習慣病や感染症の予防・対策に関する法制度、地域生活を支援する法制度		
	【到達目標】 利用者負担のしくみと軽減措置について理解する。障害者総合支援制度に関わる専門職の役割・機能について説明できる。 【授業内容】 障害者総合支援制度④ 障害者総合支援制度における利用者負担のしくみ、専門職の役割・機能				【到達目標】 「社会の理解」全体の復習と振り返りができる。 【授業内容】 前後期の総復習		
7	【到達目標】 障害者総合支援制度に関わる公的、民間の各組織の種類とそれぞれの役割について整理し、理解できる。 【授業内容】 障害者総合支援制度⑤ 障害者総合支援制度における組織、団体の機能と役割			15	【到達目標】 後期の授業を振り返り、疑問などを解消し、学習内容をより深めることができる。 【授業内容】 授業の振り返り、後期試験、解答解説		
	【到達目標】 これまでの授業を振り返り学習を深め、問題に答える。 障害児・者への法制度全般について理解できる。 【授業内容】 中間試験、解答解説 障害児・者への法制度のまとめ				【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価（特別補講を実施）		
【特記事項】 知識を積み重ねていくことが重要な科目です。小さな疑問でも早めに解消できるよう、どんなことでも質問してください。							

科目名 (英)	人間関係とコミュニケーション Relationships and Communication	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	内藤 譲
学科・コース	介護福祉士科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間	開講区分 曜日・時間	前期 火曜日 1限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 福祉業界で働く様々な役割を持つ介護福祉士(施設長・介護長・主任・リーダー・卒後1, 2, 3, 4, 5年目)や他職種の看護師、保育士、言語聴覚士、地域の方							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) ①介護の質を向上させるために必要なチームマネジメントの基礎知識を応用し、チームで働くために必要な能力を習得する。 ②現在リーダーシップを発揮し活躍している専門職からの講義や事例検討を通し、リーダーの果たす役割や組織運営について学習する。 ③多職種協働による介護実践をするために他の職種の専門性や役割を理解する学習とする。							
【到達目標】 介護実践をマネジメントするため、組織の運営管理や人材の育成や管理、リーダーシップやフォローアップ等、チーム運営の基本について講義と演習を通して学ぶ。 介護福祉士のリーダー的役割を果たすために必要な、様々なキャリアデザインの方法をイメージ出来るよう、現場での実践者から講義や演習を通して学ぶ。 また、地域の中で施設・在宅に関わらず利用者が望む生活を支えるために多職種の役割を学ぶ。							
【使用教科書・教材・参考書】 各講義で指定のものを準備				【授業外における学習】 1年生で学んだ「人間関係とコミュニケーション」から関連付けできるよう実際に現場での実践者から講義を聞き、振り返り・見返す等の復習をし学んでいきましょう！			
1	【到達目標】 ①授業の進め方を理解することができる。 ②就職後の自己研鑽の方法について理解することができる。 【授業内容】 ①授業についてのオリエンテーション ②介護福祉士のキャリアデザイン／介護福祉士の経験から得られたもの	9	【到達目標】 介護施設で実施するアニマルセラピーの効果を理解することができる。 【授業内容】 ①介護施設で行うアニマルセラピーについて				
2	【到達目標】 協働・連携する社会福祉士および介護支援専門員の役割と職務を理解する。 【授業内容】 ①社会福祉士の仕事 ②介護支援専門の仕事	10	【到達目標】 介護施設で実施するアロマの効果を理解することができる。 【授業内容】 ①介護施設で行うアロマセラピーについて				
3	【到達目標】 協働・連携する言語聴覚士(医療職)の役割と職務を理解する。 【授業内容】 ①医療連携 ②言語聴覚士の仕事	11	【到達目標】 就労継続支援事業について理解することができる。 【授業内容】 ①就労継続支援事業について ②就労継続支援事業での介護福祉士の役割について				
4	【到達目標】 協働・連携する保育士の役割と職務を理解する。 【授業内容】 ①保育士の仕事 ②保育と介護の連携(放課後デイサービス)	12	【到達目標】 民生委員について理解することができる。 【授業内容】 ①民生委員について ②民生委員と介護福祉士の連携について				
5	【到達目標】 特別養護老人ホームにおけるチームビルディング 【授業内容】 ①介護職のチーム	13	【到達目標】 介護福祉士の人材育成とケアの質管理 【授業内容】 介護現場での人材育成の実際(OJT・OFF-JT) 介護現場でのケアの質検討				
6	【到達目標】 通所サービスのリーダーの役割 【授業内容】 リーダーとは リーダー業務の実際	14	【到達目標】 施設長の役割 【授業内容】 施設長になるためには 施設長の仕事				
7	【到達目標】 幼児教育 言語聴覚士科 【授業内容】 多職種連携 言語聴覚士科の仕事を知る	15	【到達目標】 これまで学習したことを元に、自分の意見を述べるすることができる。 【授業内容】 定期試験				
8	【到達目標】 前半での学びを振り返ることができる。 【授業内容】 中間試験	【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)					
【特記事項】							

科目名 (英)	介護の基本Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2年生	担当教員	高橋 亜希子
	Basic nursing care	授業 形態	講義	総単位 時間	30時間	開講区分 曜日・時間	前期 木曜 2 限
学科・コース	介護福祉科						
【実務経験】							
「介護福祉士」として特別養護老人ホームに併設されている「デイサービス」で働いた後、リハビリテーション病院での「看護助手」として現在も従事している。							
【授業の学習内容】							
介護福祉士の「視点」から、利用者様のニーズにこたえる支援方法を学び、さまざまな解決方法を自ら「考え」「行動」できるよう常に「考える」ことを意識した授業展開を心がけます。また「座学」だけではなく、グループワークや発表を行い「質疑応答」を行うことで、より理解を深める授業にする。							
【到達目標】							
①介護を実践する対象、場によらず、様々な場面に必要とされる介護の基礎的な知識や介護福祉士の役割や機能について理解しよう。 ②介護を実践するための健康管理や労働環境の管理について理解しよう。 ③介護実践における安全管理をするための基礎的な知識や技術を習得しよう。							
【使用教科書・教材・参考書】 「2024介護福祉士国家試験 受験ワークブック 上・下」 「見て覚える！介護福祉士国試ナビ2024」中央法規(参考)				【授業外における学習】 介護に関する専門的な用語についてはあらかじめ予習してくること。授業後にも、使用したプリントなどを復習し、授業内容を身につけること。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 授業の進め方と評価の方法について理解することができる。 1年次に学んだ内容を整理することで学びを深める。 【授業内容】 オリエンテーション 介護福祉士の専門性について			9	【到達目標】 介護従事者の労働災害について理解することができる。 【授業内容】 介護者・介護従事者の安全④ (事例を用いた事故(怪我)と環境整備の関係について)		
2	【到達目標】 介護の領域におけるリスクを理解し、安全確保のための環境づくりができるような知識や視点を持てる。 【授業内容】 介護における安全の確保とリスクマネジメント① (危険察知、環境整備、事故時の対応、ヒヤリハット)			10	【到達目標】 働きやすい職場とは？を考え、事業所や個人々が取り組むことができる取組みを理解できる。 【授業内容】 労働環境についてグループワークに用い、働きやすい職場環境についてまとめる。※グループワーク		
3	【到達目標】 施設や在宅介護で生じやすい事故とその原因について理解し安全確保に対する正しい知識と対応について理解できる。 【授業内容】 介護における安全の確保とリスクマネジメント② (事故種別、BCPの視点からも対策を考える)※グループワーク			11	【到達目標】 チームアプローチの意義と課題解決に向けたプロセスを理解できる。 【授業内容】 保健・医療・福祉職の役割や機能について		
4	【到達目標】 感染に対する基礎的な知識を習得し、具体的な感染症対策について理解できる。 【授業内容】 介護における安全の確保とリスクマネジメント③ (感染症とは？/感染予防対策/感染時の対応)			12	【到達目標】 介護サービスの概要についての学びを深めることができる。 【授業内容】 介護が必要とする人の生活を支えるしくみについて① (サービス導入の過程について)		
5	【到達目標】 介護者が抱えるストレス、健康問題について考え、介護者自身のこころと身体の健康管理について理解できる。 【授業内容】 介護者・介護従事者の安全① (ストレスや健康問題を抱える原因/予防について)※グループワーク			13	【到達目標】 ケアマネジメントとは何かの理解を深め、サービス提供の在り方についての理解できる。 【授業内容】 介護が必要とする人の生活を支えるしくみについて② (ケアマネジメントの過程について)		
6	【到達目標】 安心安全に働ける労働(職場)環境について考え、その必要性について理解できる。 【授業内容】 介護者・介護従事者の安全② (労働安全対策/従事者としての権利)※グループワーク			14	【到達目標】 事例から適切なサービスや支援方法について理解できる。 【授業内容】 介護が必要とする人の生活を支えるしくみについて③ (様々な事例からサービスの必要性を掘り下げる)		
7	【到達目標】 介護従事者に多い健康被害についての具体的な対応策を理解できる。 【授業内容】 介護者・介護従事者の安全③ (福祉用具の活用/腰痛体操等)			15	【到達目標】 授業の振り返りを行い習熟度を確認する。不得意分野を明確にすることで適切なフォローアップができる。 【授業内容】 期末試験、解答解説		
8	【到達目標】 授業の振り返りを行い習熟度を確認する。不得意分野を明確にすることで適切なフォローアップができる。 【授業内容】 これまでの授業の振り返り、中間試験、解答解説			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価			
【特記事項】							

科目名 (英)	介護の基本Ⅱ Basic nursing care	必修 選択	必修	年次	2年生	担当教員	高橋 亜希子
		授業 形態	講義	総単位 時間	30時間	開講区分 曜日・時間	後期 木曜 3限
学科・コース	介護福祉科						
【実務経験】 「介護福祉士」として特別養護老人ホームに併設されている「デイサービス」で働いた後、リハビリテーション病院での「看護助手」として現在も従事している							
【授業の学習内容】 介護福祉士の「視点」から、利用者様のニーズにこたえる支援方法を学び、さまざまな解決方法を自ら「考え」「行動」できるよう常に「考える」ことを意識した授業展開を心がけます。また「座学」だけではなく、グループワークや発表を行い「質疑応答」を行うことで、より理解を深める授業にする。							
【到達目標】 ①介護福祉士の資格取得に必要な知識を理解しよう。 ②介護の基本で学ぶべき介護福祉士として必要な基礎的学びを理解しよう。 ③地域を基盤とした生活の継続性を支援するための様々な制度やしぐみを理解しよう。							
【使用教科書・教材・参考書】 「2024介護福祉士国家試験 受験ワークブック 上・下」 「見て覚える！介護福祉士国試ナビ2024」中央法規(参考)				【授業外における学習】 介護に関する専門的な用語についてはあらかじめ予習してくる。授業後にも、使用したプリントなどを復習し、授業内容を身につけること。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 介護保険制度のしくみについて理解できる。 【授業内容】 制度の全体像を再確認し、介護サービス(介護給付・予防給付・地域支援事業)が提供されるまでの流れについて学習する。			9	【到達目標】 国家試験問題を活用し、介護福祉士の倫理、介護福祉士の概念や介護の基本原則等について理解できる。 【授業内容】 介護の基本で理解すべき内容を振り返る① (過去問題を解き、習熟度の確認を行う)		
2	【到達目標】 地域包括ケアシステムの概要と地域包括ケアセンターの機能について理解できる。 【授業内容】 システムの概要やセンター機能について再確認し、地域社会における介護サービスの位置づけや関わりについて学習する。			10	【到達目標】 国家試験問題を活用し、日常生活支援の基本等について理解できる。 【授業内容】 介護の基本で理解すべき内容を振り返る② (過去問題を解き、習熟度の確認を行う)		
3	【到達目標】 障害福祉制度のしくみについて理解できる。 【授業内容】 障害者総合支援法等についての再確認を行い、障害福祉サービスが提供されるまでの流れについて学習する。Vol.1			11	【到達目標】 国家試験問題を活用し、連携、労働環境、リスクマネジメント等について理解できる。 【授業内容】 介護の基本で理解すべき内容を振り返る③ (過去問題を解き、習熟度の確認を行う)		
4	【到達目標】 障害福祉制度のしくみについて理解できる。 【授業内容】 障害者総合支援法等についての再確認を行い、障害福祉サービスが提供されるまでの流れについて学習する。Vol.2			12	【到達目標】 介護の歴史や介護問題について社会の変容を捉えながら移り変わるしくみについて理解できる。 【授業内容】 介護の基本で理解すべき内容を振り返る④ (公的サービスや制度改正の変遷について整理する)		
5	【到達目標】 成年後見制度や措置制度等の概要について理解できる。 【授業内容】 様々な制度に基づく介護のサービス提供のしくみについて。			13	【到達目標】 介護や福祉に関する統計資料等読み解くことができる。 【授業内容】 介護の基本で理解すべき内容を振り返る⑤ (統計や各種データを用い介護福祉士を取り巻く環境を整理する。)		
6	【到達目標】 各種年金制度について理解できる。 【授業内容】 社会保障制度についての再確認を行い、暮らしを支えるセーフティーネット機能について考える。Vol.1			14	【到達目標】 自身が目指すべき介護福祉士像を明確にし、目標達成に向けた道筋をたてることができる。 【授業内容】 目標設定と共有 ※グループワーク		
7	【到達目標】 各種年金制度について理解できる。 【授業内容】 社会保障制度についての再確認を行い、暮らしを支えるセーフティーネット機能について考える。Vol.2			15	【到達目標】 授業の振り返りを行い習熟度を確認する。不得意分野を明確にすることで適切なフォローアップができる。 【授業内容】 期末試験、解答解説		
8	【到達目標】 授業の振り返りを行い習熟度を確認する。不得意分野を明確にすることで適切なフォローアップができる。 【授業内容】 これまでの授業の振り返り、中間試験、解答解説			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価			
【特記事項】							

科目名 (英)	生活支援技術Ⅲ Nursing care skills Ⅲ	必修 選択	必須	年次	2年	担当教員	社会福祉法人 欣彰会 橋本幸子 栗原法子 ／保住 恵理
		授業 形態	講義	総単位 時間	30時間	開講区分 曜日・時間	前期 水曜 2限
学科・コース	介護福祉士科						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) ①高齢者施設において、介護職・相談員として20年以上勤務経験あり。現在も特別養護老人ホーム、デイサービスにて在職中。 ②介護福祉士として特養9年間、有料で2年間、現場で経験。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 基本の支援方法を確認しながら、担当教員が実際に現場で行っている事例について検討・実践することをベースとする授業内容である。 1年生で習得した基本の支援と、実習で経験した個別ケアとは何かを考えながら、その人らしい自立・自律を尊重し個別のニーズに対応できる生活支援を理解し、習得して欲しい。座学で事例検討し、実技の授業で実践する。各グループで検討した内容を共有し“なぜそのような対応をしたのか”根拠が説明でき、それを理解する姿勢で臨んで欲しい。							
【到達目標】 ・心身の状況に応じた介護や生活支援という目的を踏まえ、生活課題や介護の方向性をグループで検討し説明することができる。 ・対象となる利用者を“生活者”と理解し、生活課題に応じた支援は何か理解し実践することができる。 ・チームで協働するために必要なコミュニケーション力を養うために情報の管理・共有の意義を理解することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 見て覚える！介護福祉士国試ナビ(中央法規)				【授業外における学習】 座学で検討した内容を実技の授業で実践できるように準備をお願いします。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】事例① 授業の進め方を理解することができる。 生活支援技術Ⅲで何を学び、習得してほしいか理解することができる。 【授業内容】 授業のオリエンテーション 生活支援技術Ⅲの位置づけ目的説明、グループで事例検討			9	【到達目標】★座学★事例⑤ 第8回目までのまとめと、次回の実践に向けて事例検討することができる。 【授業内容】 各グループで事例検討し、実践に向けて準備をする		
4/9				8/27			
2	【到達目標】★実技★ グループで検討したことを発表し、各グループからの発表で得た視点をまとめることができる。 【授業内容】 各グループで事例検討したことを実践発表			10	【到達目標】★実技★ グループで検討したことを発表し、各グループからの発表で得た視点をまとめることができる。 【授業内容】 各グループで事例検討したことを実践発表		
4/16				9/3			
3	【到達目標】★座学★事例② 前回の実践のまとめと、次回の実践に向けて事例検討することができる。 【授業内容】 各グループで事例検討し、実践に向けて準備をする			11	【到達目標】★座学★事例⑥ 前回の実践のまとめと、次回の実践に向けて事例検討することができる。 【授業内容】 各グループで事例検討し、実践に向けて準備をする		
4/23				9/10			
4	【到達目標】★実技★ グループで検討したことを発表し、各グループからの発表で得た視点をまとめることができる。 【授業内容】 各グループで事例検討したことを実践発表			12	【到達目標】★実技★ グループで検討したことを発表し、各グループからの発表で得た視点をまとめることができる。 【授業内容】 各グループで事例検討したことを実践発表		
4/30				9/17			
5	【到達目標】★座学★事例③④ 前回の実践のまとめと、次回の実践に向けて事例検討することができる。 【授業内容】 各グループで事例検討し、実践に向けて準備をする			13	【到達目標】★座学★事例⑦ 前回の実践のまとめと、次回の実践に向けて事例検討することができる。 【授業内容】 各グループで事例検討し、実践に向けて準備をする		
5/7				9/24			
6	【到達目標】★実技★ グループで検討したことを発表し、各グループからの発表で得た視点をまとめることができる。 【授業内容】 各グループで事例検討したことを実践発表			14	【到達目標】★実技★ グループで検討したことを発表し、各グループからの発表で得た視点をまとめることができる。 【授業内容】 各グループで事例検討したことを実践発表 定期試験に向けてこれまでの内容を振り返り		
5/14				10/1			
7	【到達目標】★実技★ 第6回目までの実践のまとめと、中間試験に向けて振り返ることができる。 【授業内容】(演習)			15	【到達目標】★実技★ 第1回目～第14回目までの授業を振り返り、Aさんの事例に関して実践することができる。 【授業内容】 Aさんの事例を読み、実技試験を行う。		
5/21				10/8			
8	【到達目標】★座学★ 第7回目までの授業を振り返り、Aさんの事例に関して答えることができる。 【授業内容】 Aさんの事例を読み、筆記試験を行う。			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価			
5/28							
【特記事項】							

＜お願い＞作成後、印刷をしていただき、文字が全て枠内に収まっていることを確認いただいた後にデータをご提出ください。

科目名 (英)	生活支援技術Ⅲ Nursing care skills Ⅲ	必修 選択	必須	年次	2年	担当教員	社会福祉法人 欣彰会 橋本幸子 栗原法子 ／保住 恵理
	介護福祉士科	授業 形態	講義	総単位 時間	30時間	開講区分 曜日・時間	後期 水曜 2限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) ①高齢者施設において、介護職・相談員として20年以上勤務経験あり。現在も特別養護老人ホーム、デイサービスにて在職中。 ②介護福祉士として特養9年間、有料で2年間、現場で経験。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 基本の支援方法を確認しながら、担当教員が実際に現場で行っている事例について検討・実践することをベースとする授業内容である。 1年生で習得した基本の支援と、実習で経験した個別ケアとは何かを考えながら、その人らしい自立・自律を尊重し個別のニーズに対応できる生活支援を理解し、習得して欲しい。座学で事例検討し、実技の授業で実践する。各グループで検討した内容を共有し“なぜそのような対応をしたのか”根拠が説明でき、それを理解する姿勢で臨んで欲しい。							
【到達目標】 ・心身の状況に応じた介護や生活支援という目的を踏まえ、生活課題や介護の方向性をグループで検討し説明することができる。 ・対象となる利用者を“生活者”と理解し、生活課題に応じた支援は何か理解し実践することができる。 ・チームで協働するために必要なコミュニケーション力を養うために情報の管理・共有の意義を理解することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 見て覚える！介護福祉士国試ナビ(中央法規)				【授業外における学習】 座学で検討した内容を実技の授業で実践できるように準備をお願いします。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】事例① 授業の進め方を理解することができる。 生活支援技術Ⅲで何を学び、習得してほしいか理解することができる。 【授業内容】 授業のオリエンテーション 生活支援技術Ⅲの位置づけ目的説明、グループで事例検討			9	【到達目標】★座学★事例④ 前回の実践のまとめと、次回の実践に向けて事例検討することができる。 【授業内容】 各グループで事例検討し、実践に向けて準備をする		
10/15				12/10			
2	【到達目標】★実技★ グループで検討したことを発表し、各グループからの発表で得た視点をまとめることができる。 【授業内容】 各グループで事例検討したことを実践発表			10	【到達目標】★実技★ グループで検討したことを発表し、各グループからの発表で得た視点をまとめることができる。 【授業内容】 各グループで事例検討したことを実践発表		
10/22				12/17			
3	【到達目標】★座学★事例② 前回の実践のまとめと、次回の実践に向けて事例検討することができる。 【授業内容】 各グループで事例検討し、実践に向けて準備をする			11	【到達目標】★座学★事例⑤ 前回の実践のまとめと、次回の実践に向けて事例検討することができる。 【授業内容】 各グループで事例検討し、実践に向けて準備をする		
10/29				12/24			
4	【到達目標】★実技★ グループで検討したことを発表し、各グループからの発表で得た視点をまとめることができる。 【授業内容】 各グループで事例検討したことを実践発表			12	【到達目標】★実技★ グループで検討したことを発表し、各グループからの発表で得た視点をまとめることができる。 【授業内容】 各グループで事例検討したことを実践発表		
11/5				1/14			
5	【到達目標】★座学★事例③ 前回の実践のまとめと、次回の実践に向けて事例検討することができる。 【授業内容】 各グループで事例検討し、実践に向けて準備をする			13	【到達目標】★座学★事例⑥⑦ 前回の実践のまとめと、次回の実践に向けて事例検討することができる。 【授業内容】 各グループで事例検討し、実践に向けて準備をする		
11/12				1/21			
6	【到達目標】★実技★ グループで検討したことを発表し、各グループからの発表で得た視点をまとめることができる。 【授業内容】 各グループで事例検討したことを実践発表			14	【到達目標】★実技★ グループで検討したことを発表し、各グループからの発表で得た視点をまとめることができる。 【授業内容】 各グループで事例検討したことを実践発表 定期試験に向けてこれまでの内容を振り返り		
11/19				1/28			
7	【到達目標】★実技★ 第6回目までの実践のまとめと、中間試験に向けて振り返ることができる。 【授業内容】(演習)			15	【到達目標】 第1回目～第14回目までの授業を振り返り、Bさんの事例に関して実践することができる。 【授業内容】 Bさんの事例を読み、実技試験を行う。		
11/26				2/4			
8	【到達目標】★座学★ 第7回目までの授業を振り返り、Bさんの事例に関して答えることができる。 【授業内容】 Bさんの事例を読み、筆記試験を行う。			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価			
12/3							
【特記事項】							

＜お願い＞作成後、印刷をしていただき、文字が全て枠内に収まっていることを確認いただいた後にデータをご提出ください。

科目名 (英)	介護過程 Care Work Process	必修 選択	必須	年次	2年	担当教員	田母神 由美
	学科・コース	介護福祉士科	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 高齢者施設(入所、通所、在宅)や障害者施設(共同生活支援、就労支援、相談業務)など37年の実務経験を活かし現在も現場で支援を継続して行っている。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 介護が必要とされる対象者自身が【望む生活】、【よりよい人生】を実現するため、専門的知識を活用し生活上の課題解決に向けて取り組むプロセスを学ぶ科目である。担当教員が実際に日常で起きている様々な事例や知識を生かし伝えることで、何を考えどのような生活を送りたいのかなど、相手の想いに寄り添い状態に合わせた自立支援の方法を理解してほしい。							
【到達目標】 ・介護過程の目的、意義を理解し、介護過程を展開する一連のプロセスを理解することができる・生活課題を抽出し実施、評価方法を理解することができる。 ・介護過程を展開するための情報共有の方法や各職種の役割を理解することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・介護福祉士養成講座9「介護過程」 中央法規 ・介護福祉士 受験ワークブック 2024下 中央法規				【授業外における学習】 専門的用語や小テストの内容など習得できているかを確認し授業に備える。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 情報を整理し生活課題について理解することができる 【授業内容】 3次実習に向けて作成する書式の確認 に作成した個別援助計画を使用し生活課題の抽出 2次実習時			9	【到達目標】 各書式の記載方法を理解し作成することができる。 【授業内容】 3次実習時に作成した記録の振り返り及び確認		
	2	【到達目標】 目標の設定方法について理解することができる 【授業内容】 生活課題を抽出し長期目標、短期目標を設定			10	【到達目標】 実際に行った展開方法を振り返り理解することができる 【授業内容】 介護過程の展開 まとめ①	
3		【到達目標】 自立支援に基づき実際に行う際の展開方法を考えることができる 【授業内容】 目標を設定し実施方法の検討①				11	【到達目標】 介護過程の意義と目的について再確認することができる 【授業内容】 介護過程の展開 まとめ②
	4	【到達目標】 安全に留意した展開方法を考えることができる 【授業内容】 実施方法の検討②			12		【到達目標】 介護過程の全体像について再確認することができる 【授業内容】 介護過程の展開 まとめ③
5		【到達目標】 検討した展開方法を様式に記載することができる 【授業内容】 実施方法の検討③				13	【到達目標】 ICF の活用方法について再確認することができる 【授業内容】 介護過程の展開 まとめ④
	6	【到達目標】 評価方法について理解することができる 【授業内容】 評価方法の考え方			14		【到達目標】 チームアプローチについて再確認することができる 【授業内容】 介護過程の展開 まとめ⑤
7		【到達目標】 よりよい生活につながる評価方法を考えることができる 【授業内容】 実施した内容に対するの評価方法の記載				15	【到達目標】 前期の授業で学んだ理解度を確認し、不明な点は再度確認する 【授業内容】 定期試験・前期授業の振り返り
	8	【到達目標】 介護過程一連のプロセスについて再確認する 【授業内容】 介護過程のまとめ・中間テスト けて作成する様式の確認 3次実習に向			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価		
【特記事項】							

科目名 (英)	介護過程Ⅱ Care Work Process Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	保住 恵理
学科・コース	介護福祉士科	授業 形態	講義	総単位 時間	30時間	開講区分 曜日・時間	後 期 金曜 4 限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
介護福祉士や介護支援専門員として特別養護老人ホームに就業してきた。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本人の望む生活の実現に向けて、生活課題の分析を行い、根拠に基づく介護実践を伴う課題解決の思考過程を習得する学習とする。 個別の事例を通じて対象者の状態や状況に応じた介護過程の展開につながる内容とする。							
【到達目標】							
①対象となる人の能力を引き出し、本人主体の生活を地域で継続するための介護過程を展開できる能力を養う。 ②各領域で学んだ知識と技術を統合し、介護実践に必要な観察力・判断力及び思考力を養う。							
【使用教科書・教材・参考書】 介護福祉士国家試験受験ワークブック上下(中央法規) 見て覚える！介護福祉士国試ナビ(中央法規)				【授業外における学習】 これまでに介護過程の授業内で学習した内容(ICFの視点、介護過程を展開するための一連のプロセスなど)を振り返り、理解しておくこと。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 アセスメントの種類を知る 【授業内容】 ひもときシートを知る			9	【到達目標】 アセスメントの種類を知る 【授業内容】 24時間シートを知る		
2	【到達目標】 アセスメントからのサービスの質へつながる本質を考える 【授業内容】 ひもときシートで事例を行う			10	【到達目標】 アセスメントからのサービスの質へつながる本質を考える 【授業内容】 24時間シートを学ぶ		
3	【到達目標】 アセスメントからのサービスの質へつながる本質を考える 【授業内容】 ひもときシートを作る			11	【到達目標】 アセスメントからのサービスの質へつながる本質を考える 【授業内容】 24時間シートで事例検討を行う		
4	【到達目標】 アセスメントの種類を知る 【授業内容】 センター方式			12	【到達目標】 アセスメントについて 【授業内容】 アセスメント表を作る		
5	【到達目標】 アセスメントからのサービスの質へつながる本質を考える 【授業内容】 センター方式			13	【到達目標】 各業種の立場に立つことができる 【授業内容】 カンファレンスを開く準備		
6	【到達目標】 各業種の立場に立つことができる 【授業内容】 カンファレンスを開く準備			14	【到達目標】 各業種の立場に立つことができる 【授業内容】 カンファレンスを開く		
7	【到達目標】 各業種の立場に立つことができる 【授業内容】 カンファレンスを開く			15	【到達目標】 今までの授業を振り返る 【授業内容】 定期試験		
8	【到達目標】 今までの振り返り 【授業内容】 中間試験			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	介護総合演習Ⅱ Guidance of nursing skill Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	田村・内藤・保住
		授業 形態	演習	総単位 時間	30時間	開講区分 曜日・時間	前期 木曜 1限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 介護福祉士として就業した専任教員として、介護実践に必要な知識・態度を養う学習を行う。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 介護実践に必要な知識と技術の統合を行うとともに、介護観を形成し、専門職としての態度を養う学習とする。							
【到達目標】 ・介護実習の効果を上げると為、事前に実習する施設や事業所について理解を深めるとともに、各領域で学んだ知識と技術を統合し、介護実践につなげることができる。 ・質の高い介護実践やエビデンスの構築につながる実践研究の意義とその方法を理解することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 実習と記録 介護福祉士編 一般財団法人滋慶教育科学研究所 新・介護福祉士養成講座10介護総合演習・介護実習(参考図書)				【授業外における学習】 実習に関連する情報の管理を適切に行うこと。 実習日誌および実習課題等は期日を守り提出すること。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 ①授業の進め方を理解することができる。 ②第一次、第二次実習の振り返りをし、第三次実習に向けて準備をすることができる。 【授業内容】 ①授業についてのオリエンテーション ②第一次、第二次実習の振り返り			9	【到達目標】 1年前と比較し、理想の生活を想像することができる。 【授業内容】		
2	【到達目標】 ①第三次実習に向けて書類準備をすることができる。 【授業内容】 ・第三次実習先発表 ・実習目標を立てる／実習生紹介書作成／※頭髪検査日伝達			10	【到達目標】 理想の生活を発表することができる。 【授業内容】		
3	【到達目標】★実習先発表★ ①第三次実習に向けて書類を完成させることができる。 【授業内容】 ・実習定期申請書作成 ・実習生紹介書完成			11	【到達目標】 ①各グループで研究発表に向けて準備をする。 【授業内容】 ・研究発表について ・グループワーク		
4	【到達目標】 ①第一次、第二次実習の日誌を再度見直し、日誌の書き方について理解することができる。 ②記録を書くことの意味を考えることができる。 【授業内容】 ①第一次、第二次実習の日誌をグループで見直し訂正 ②記録を書くときに大切なこと			12	【到達目標】 ①各グループで研究発表に向けて準備をする。 【授業内容】 ・研究発表準備		
5	【到達目標】★検便キット配布★ ①第一次、第二次実習の日誌を再度見直し、日誌の書き方について理解することができる。 ②記録を書くことの意味を考えることができる。 【授業内容】 ①第一次、第二次実習の日誌をグループで見直し訂正 ②記録を書くときに大切なこと			13	【到達目標】 ①各グループで研究発表に向けて準備をする。 【授業内容】 ・研究発表準備		
6	【到達目標】 ①手順書通りに実演し、誰もが同じ業務を遂行できるか確認し修正することができる。 【授業内容】 ・第二次実習の課題「手順書」通りに実演 ・誰もが同じ業務を遂行できるかグループで確認し修正			14	【到達目標】 ①各グループで研究発表に向けて準備をする。 【授業内容】 ・研究発表準備		
7	【到達目標】 事故の事例を通して、事故を未然に防ぐための対応を考えることができる。 【授業内容】 ・事故事例検討 ・事故報告書の書き方			15	【到達目標】 ①各グループで研究したものを発表する。 【授業内容】 定期試験		
8	【到達目標】 ①第三次実習に向けて、各領域で学んだ知識の理解度を測ることができる。 ②オリエンテーションに向けてアポイントを取ることができる。 【授業内容】 中間試験 各自実習先へ事前オリエンテーションのアポイントを取る			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	障害の理解 Comprehension of handicap	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	大川 空湖 前 期 水曜 4限
	学科・コース	介護福祉士科	授業 形態	講義	総単位 時間	30 時間	
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
障害者支援施設・グループホーム・相談支援センターにおいて、20年間身体障害者・知的障害者・精神障害者の生活支援・相談支援等の実務に携わる。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は、障害のある人の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的な知識を習得するとともに、障害のある人の地域での生活を理解し、本人のみならず家族や地域を含めた周囲の環境への支援を理解するための基本的な知識を習得する。障害のある人に対する介護や支援を、担当教員の現場経験に基づく実例を通してイメージできるよう配布資料や映像をとおして学習する。							
【到達目標】							
・障害の基礎的理解として、障害の概念、障害者福祉の基本理念を理解することができる。 ・障害種別ごとの医学的、心理的側面も踏まえた生活を理解し、障害のある人の生活と、障害特性に応じた支援について理解することができる。 ・障害のある人を取り巻く家族に対する支援のあり方の理解、介護福祉士がチームアプローチを行う上での連携と協働についての理解ができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 介護福祉士国家試験受験ワークブック2024 上下(中央法規) 見て覚える！介護福祉士国試ナビ2024(中央法規)				【授業外における学習】 障害者支援に関する専門用語が出てくるので、予めワークブック等を読み予習をしておくこと。また、重要項目については復習をおこなうこと。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 障害の概念について理解できる。 【授業内容】 障害とは何か、障害の種類には何があるのか、障害者の法的定義			9	【到達目標】 肢体不自由(脳性麻痺)のある人の生活について理解できる。 【授業内容】 脳性麻痺の医学的理解(原因、症状)、障害特性に応じた支援。		
	【到達目標】 障害者福祉の基本理念について理解できる。 【授業内容】 ICIDH・ICF、ノーマライゼーション・リハビリテーション・インクルージョン				【到達目標】 肢体不自由(脊髄損傷)のある人の生活について理解できる。 【授業内容】 脊髄損傷とは何か、原因、症状、中途障害者の典型的な障害受容過程		
	【到達目標】 視覚障害のある人の生活について理解できる。 【授業内容】 視覚障害の医学的理解(視覚機能・視覚障害の種類・原因疾患)心理的理解、生活の理解、障害特性に応じた支援。				【到達目標】 知的障害のある人の生活について理解できる。 【授業内容】 知的障害とは何か、原因、特徴、障害特性に応じた支援		
4	【到達目標】 聴覚障害のある人の生活について理解できる。 【授業内容】 聴覚障害の医学的理解(聴覚障害、耳の構造、難聴の種類)、心理的理解、生活の理解、障害特性に応じた支援。			12	【到達目標】 精神障害のある人の生活について理解できる。 【授業内容】 精神障害とは何か、精神障害の分類と主な疾患、障害特性に応じた支援		
	【到達目標】 言語障害・重複障害のある人の生活について理解できる。 【授業内容】 言語障害とは何か、言語障害の種類、生活上の困難について。重複障害の医学的理解、心理面の理解、コミュニケーション方法。				【到達目標】 高次脳機能障害のある人の生活について理解できる 【授業内容】 高次脳機能障害とは何か、高次脳機能障害の原因、主要症状、障害特性に応じた支援		
6	【到達目標】 肢体不自由(脳血管障害)のある人の生活について理解できる。 【授業内容】 肢体不自由とは何か、脳血管障害とは、またその後遺症			14	【到達目標】 発達障害のある人の生活について理解できる。 【授業内容】 発達障害とは何か、発達障害の種類、障害特性に応じた支援		
	【到達目標】 障害者支援についてあたらしい視点で考えることができる。 【授業内容】 施設職員との交流、ワークショップ				【到達目標】 これまでの授業の振り返り。わからない問題の洗い出し、自身の課題を見つけることができる。 【授業内容】 定期テスト・解説		
8	【到達目標】 これまでの授業の振り返り。わからない問題の洗い出し、自身の課題を見つけることができる。 【授業内容】 中間テスト・解説			15	【到達目標】 これまでの授業の振り返り。わからない問題の洗い出し、自身の課題を見つけることができる。 【授業内容】 定期テスト・解説		
	【特記事項】				【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数 100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)		

科目名 (英)	障害の理解 Comprehension of handicap	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	大川 空湖
学科・コース	介護福祉科	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後 期 水 曜 4 限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
障害者支援施設・グループホーム・相談支援センターにおいて、20年間身体障害者・知的障害者・精神障害者の生活支援・相談支援等の実務に携わる。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は、障害のある人の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的な知識を習得するとともに、障害のある人の地域での生活を理解し、本人のみならず家族や地域を含めた周囲の環境への支援を理解するための基本的な知識を習得する。障害のある人に対する介護や支援を、担当教員の現場経験に基づく実例を通してイメージできるよう配布資料や映像をととして学習する。							
【到達目標】							
・障害の基礎的理解として、障害の概念、障害者福祉の基本理念を理解することができる。 ・障害種別ごとの医学的、心理的側面も踏まえた生活を理解し、障害のある人の生活と、障害特性に応じた支援について理解することができる。 ・障害のある人を取り巻く家族に対する支援のあり方の理解、介護福祉士がチームアプローチを行う上での連携と協働についての理解ができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
介護福祉士国家試験受験ワークブック2023 上下(中央法規) 見て覚える！介護福祉士国試ナビ2023(中央法規)				障害者支援に関する専門用語が出てくるので、予めワークブック等を読み予習をしておくこと。また、重要項目については復習をおこなうこと。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 重症心身障害のある人の生活について理解できる。 【授業内容】 重症心身障害とは何か、原因及びさまざまな状態像、生活支援と医療的ケア			9	【到達目標】 難病とは何か、主要な内臓・皮膚・血液系の難病について理解できる。 【授業内容】 難病の種類・進行段階期による支援の課題・心理的状況・介護上の留意点		
2	【到達目標】 身体障害がある人の地域生活について理解できる。 【授業内容】 ゲストスピーカー(当事者)による講義、学生との質疑。			10	【到達目標】 障害者総合支援法のポイントが理解できる。 【授業内容】 障害者総合支援法の体系・給付の内容・利用の手続など。		
3	【到達目標】 心臓機能障害のある人の生活について理解できる。 【授業内容】 心臓機能障害をきたす原因疾患、ペースメーカー、介護上の留意点			11	【到達目標】 社会資源の利用・家族支援について理解できる。 【授業内容】 補装具支給制度・レスパイトサービスの定義・相談支援など。		
4	【到達目標】 腎臓機能障害のある人の生活について理解できる。 呼吸機能障害のある人の生活について理解できる。 【授業内容】 腎臓の働き、保存期の生活、末期腎不全の治療方法 呼吸機能障害の原因疾患、治療法、介護の留意点			12	【到達目標】 障害者の虐待防止と権利擁護について理解できる。 【授業内容】 障害者虐待防止法・虐待の定義、身体拘束・障害者差別解消法など。		
5	【到達目標】 膀胱・直腸機能障害のある人の生活について理解できる。 【授業内容】 膀胱・直腸機能障害の原因、治療法、管理方法、介護上の留意点			13	【到達目標】 障害のある人に対する介護の基本視点について理解できる。 【授業内容】 障害者の自立を促す要素・エンパワメント・ストレングスモデルなど。		
6	【到達目標】 肝臓機能障害・免疫機能障害のある人の生活について理解できる。 スタンダードプリコーションが実践できる。 【授業内容】 肝臓の機能、肝臓機能障害の原因、種類、介護上の留意点 HIV、AIDSについて、心理的負担の軽減、介護上の留意点			14	【到達目標】 1年間を振り返り、障害の理解を深めることができる 【授業内容】 1年のまとめ		
7	【到達目標】 難病とは何か、主要な運動神経系の難病について理解できる。 【授業内容】 進行段階期による支援の課題の整理ができる。心理的状況、介護上の留意点などを理解することができる。			15	【到達目標】 これまでの授業の振り返り。わからない問題の洗い出し、自身の課題を見つけることができる。 【授業内容】 定期テスト・解説		
8	【到達目標】 これまでの授業の振り返り。わからない問題の洗い出し、自身の課題を見つけることができる。 【授業内容】 中間テスト・解説			【評価について】			
【特記事項】				筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			

科目名 (英)	こころとからだのしくみ The mechanism of the mind and body	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	小林亜紀
	学科・コース 介護福祉士科	授業 形態	座学	総単位 時間	30時間	開講区分 曜日・時間	前期 木 2限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
看護教員の時に解剖生理学及び成人看護学・基礎看護学・精神看護学の講義担当							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
介護の基本となる人体の構造や機能の学ぶ。1年次に引き続き国家試験にも通用するレベルの知識を習得できるよう、また卒業後生活支援を行う際にエビデンスに基づいたケアを提供できるよう、具体例をあげて進めていく。また受け身の講義にならないよう、学生が積極的に考える時間を作る。							
【到達目標】							
人体の構造と機能、こころのしくみについて理解でき実践に活かすことができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 見て覚える 介護福祉士国試ナビ(中央法規) 介護福祉士受験ワークブック下(中央法規)				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 睡眠の効果を理解し、こころとからだに与える影響を知ることができる。 【授業内容】 睡眠のしくみ レム睡眠とノンレム睡眠			9	【到達目標】 感覚器系のしくみについて復習し、知識を確立することができる 【授業内容】 目 耳 鼻のしくみと障害		
2	【到達目標】 心身の機能低下・障害が及ぼす睡眠への影響を理解することができる。 【授業内容】 睡眠障害 睡眠に関する変化と医療との連携			10	【到達目標】 感覚器のしくみについて復習し、知識を確立することができる 【授業内容】 皮膚のしくみと紹介 ケアのポイント		
3	【到達目標】 終末期とは何かを考えることができる。 【授業内容】 死の理解 生きることの理解			11	【到達目標】 感染とh何かを理解し、感染予防策について習得することができる 【授業内容】 感染経路 スタンダードプリコーション ゾーニング		
4	【到達目標】 死にゆく人のこころを考えることができる。 【授業内容】 キューブラロスの受容家庭 フィンクの危機理論			12	【到達目標】 骨と筋肉に関するしくみについて復習し、知識を確立することができる。 【授業内容】 骨と筋肉、神経の構造と障害		
5	【到達目標】 死にゆく人の周囲の人たちのこころを考えることができる。 【授業内容】 人生会議			13	【到達目標】 生活習慣病について理解することができる。 【授業内容】 高血圧 動脈硬化		
6	【到達目標】 薬の基本的な取り扱いについて理解することができる。 【授業内容】 医療行為と医療行為でない行為 内服介助			14	【到達目標】 生活習慣病について理解することができる。 【授業内容】 糖尿病と関連疾患		
7	【到達目標】 薬の作用と副作用について学習することができる。 【授業内容】 主な疾患に関する薬の作用と副作用 副作用に対するケア			15	【到達目標】 今までの知識を確認することができる 【授業内容】 定期テスト		
8	【到達目標】 前半の知識を確認することができる 【授業内容】 中間テスト			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	こころとからだのしくみ	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	小林亜紀
	The mechanism of the mind and body	授業 形態	座学	総単位 時間	30時間	開講区分 曜日・時間	後期 木 2限
学科・コース	介護福祉士科						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
看護教員の時に解剖生理学及び成人看護学・基礎看護学・精神看護学の講義担当							
【学習内容】							
介護の基本となる人体の構造や機能の学ぶ。1年次に引き続き国家試験にも通用するレベルの知識を習得できるよう、また卒業後生活支援を行う際にエビデンスに基づいたケアを提供できるよう、具体的な例をあげて進めていく。また受け身の講義にならないよう、学生が積極的に考える時間を作る。							
【到達目標】							
人体の構造と機能、こころのしくみについて理解でき実践に活かすことができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 見て覚える 介護福祉士国試ナビ(中央法規) 受験ワークブック下(中央法規)				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 血液の循環について復習し、知識を確立することができる。			9	【到達目標】 食事に関するこころとからだのしくみについて復習し、知識を確立することができる。		
	【授業内容】 心臓の構造としくみ 体循環と肺循環				【授業内容】 嚥下のしくみ 食事動作の障害		
2	【到達目標】 栄養の消化吸収について復習し、知識を確立することができる。			10	【到達目標】 入浴・清潔保持に関するこころとからだのしくみについて復習し、知識を確立することができる。		
	【授業内容】 消化器系の構造としくみ 栄養の代謝				【授業内容】 入浴の意義と入浴に関する身体運動		
3	【到達目標】 泌尿器系のしくみについて復習し、知識を確立することができる。			11	【到達目標】 排泄にかんするこころとからだのしくみについて復習し、知識を確立することができる。		
	【授業内容】 尿の生成 前立腺肥大 神経因性膀胱				【授業内容】 尿便失禁の種類とケア 人工肛門と人工膀胱		
4	【到達目標】 内分泌系、生殖器系のしくみを復習し、知識を獲得することができる。			12	【到達目標】 国家試験対策		
	【授業内容】 内分泌系のしくみ 生殖器系のしくみ				【授業内容】 過去問を解き、解説		
5	【到達目標】 身支度に関するこころとからだのしくみについて復習し、知識を確立することができる。			13	【到達目標】 国家試験対策		
	【授業内容】 身支度に関する部位の役割と関わりかた				【授業内容】 過去問を解き、解説		
6	【到達目標】 身支度に関する疾病や傷害について復習し知識を確立することができる。			14	【到達目標】 国家試験対策		
	【授業内容】 身支度に関する疾病と障害				【授業内容】 過去問を解き、解説		
7	【到達目標】 移動に関するこころとからだのしくみについて復習し、知識を確立することができる。			15	【到達目標】 これまでの知識の確認ができる		
	【授業内容】 姿勢 歩行 転倒の要因と骨折・疾患に伴う歩行の特徴				【授業内容】 定期試験		
8	【到達目標】 前半で知識の知識の確認ができる			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数 100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
	【授業内容】 中間テスト						
【特記事項】							

科目名 (英)	医療的ケア Medical care	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	白井良江	
	学科・コース	介護福祉士科	授業 形態	講義 演習	総単位 時間	30時間	開講区分 曜日・時間	前期 金 曜日1・2限
【実務経験】（担当する授業科目に関連した実務経験） 大学病院内分泌代謝科・訪問看護・有料老人ホームに勤務し、看護師として25年以上の経験を持つ。								
【授業の学習内容】（どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか） 本科目は、平成23年から、医師の指示の下、喀痰吸引や経管栄養が介護福祉士の業務として位置づけられた医療的ケアの意義を学び、医療職との連携のもとで、医療的ケアを安全・適切に実施できるよう必要な知識・技術を習得する。高齢者施設の看護師として、日々行っている喀痰吸引・経管栄養の実務経験をいかして、解剖生理学的な基礎知識・実施手順・留意点・緊急時の対応について伝える。								
【到達目標】 医療職との連携のもとで医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、医療的知識と技術の基本を習得することができる。								
【使用教科書・教材・参考書】 最新介護福祉士養成講座 医療的ケア中央法規・見て覚える介護福祉士国試ナビ 中央法規・介護福祉士国家試験受験ワークブック 上下中央法規					【授業外における学習】			
回	授 業 概 要				回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 介護福祉士が医療的ケアを実施できるようになった背景が理解できる。 【授業内容】P2～P27 オリエンテーション・医療的ケアとは・医行為について喀痰吸引等制度 医療的ケアと喀痰吸引等実施の背景				9	【到達目標】 消化器系の構造・機能・症状と経管栄養のしくみと種類・内容・実施上の留意点が理解できる 【授業内容】P168～P185 消化器系のしくみとはたらき 消化・吸収とよくある消化器の症状 経管栄養とは 経管栄養実施上の留意点		
2	【到達目標】 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論が理解できる。 【授業内容】P96～P106 呼吸のしくみとはたらき・いつもと違う呼吸状態・喀痰吸引とは演習のグループわけと注意事項				10	【到達目標】 経管栄養に使用する物品や経管栄養の種類、安全に実施するための手順、物品の取り扱いや消毒について理解できる 【授業内容】P205～P225 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 経管栄養の技術と留意点 経管栄養に必要なケア		
3	【到達目標】 口腔内・鼻腔内の喀痰吸引の実施手順と留意点を理解することができる。 【授業内容】P142～P158 P232～P242 喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 吸引の技術と留意点 吸引チューブの取り扱い練習				11	【到達目標】 経管栄養に使用する物品や経管栄養の種類、安全に実施するための手順、物品の取り扱いや消毒について理解できる 【授業内容】胃瘻P255～P267 経鼻P279～P291 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 経管栄養の技術と留意点 経管栄養に必要なケア		
4	【到達目標】 気管カニューレ内部の喀痰吸引の実施手順と留意点を理解することができる。 【授業内容】P142～P158 P243～P254 喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 吸引の技術と留意点 滅菌手袋の装着練習				12	【到達目標】 胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養・経鼻経管栄養の実施手順と留意点を理解することができる。 【授業内容】 経管栄養のケアの実施の手引き		
5	【到達目標】 口腔内・鼻腔内の喀痰吸引 気管カニューレ内部の喀痰吸引の実施手順と留意点を理解することができる。 【授業内容】 喀痰吸引のケア実施の手引き				13	【到達目標】 胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養・経鼻経管栄養の実施手順と留意点を理解することができる。 【授業内容】 経管栄養のケアの実施の手引き		
6	【到達目標】 口腔内・鼻腔内の喀痰吸引 気管カニューレ内部の喀痰吸引の実施手順と留意点を理解することができる。 【授業内容】 喀痰吸引のケア実施の手引き				14	【到達目標】 胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養・経鼻経管栄養の実施手順と留意点を理解することができる。 【授業内容】 経管栄養のケアの実施の手引き		
7	【到達目標】 口腔内・鼻腔内の喀痰吸引 気管カニューレ内部の喀痰吸引の実施手順と留意点を理解することができる。 【授業内容】 喀痰吸引のケア実施の手引き				15	【到達目標】 医療的ケアの目的と喀痰吸引・経管栄養の実施手順、留意点について理解できる。 【授業内容】 定期試験		
8	【到達目標】 喀痰吸引の実施手順と留意点の知識の確認。健康状態の把握（バイタルサインを理解できる） 【授業内容】 ・中間試験 ・バイタルチェック				【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価（特別補講を実施）			
【特記事項】								

科目名 (英)	医療的ケア Medical care	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	白井良江
	学科・コース	介護福祉士科	授業 形態	講義 演習	総単位 時間	52時間	開講区分 曜日・時間
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 大学病院内分泌代謝科・訪問看護・有料老人ホームに勤務し、看護師として25年以上の経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 本科目は、平成23年から、医師の指示の下、喀痰吸引や経管栄養が介護福祉士の業務として位置づけられた医療的ケアの意義を学び、医療職との連携のもとで、医療的ケアを安全・適切に実施できるよう必要な知識・技術を習得する。高齢者施設の看護師として、日々行っている喀痰吸引・経管栄養の実務経験をいかして、解剖生理学的な基礎知識・実施手順・留意点・緊急時の対応について伝える。							
【到達目標】 医療職との連携のもとで医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、医療的知識と技術の基本を習得することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 最新介護福祉士養成講座 医療的ケア中央法規・見て覚える介護福祉士国試ナビ 中央法規・介護福祉士国家試験受験ワークブック 上下中央法規				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 救急蘇生について理解できる。正しく胸骨圧迫ができる。 【授業内容】 救急蘇生P42～P61 救急蘇生法の手引き P292～P311 救急蘇生の目的、方法・気道異物の除去			9	【到達目標】 医療的ケア全体の知識を深める。喀痰吸引と経管栄養について理解できる。 【授業内容】 第31回問題 解答解説		
2	【到達目標】 介護保険法、障害者総合支援法、健康保険法、学校保健法について理解することができる。 安全な療養生活が理解できる。 【授業内容】P28～P35 P37～P42 社会福祉士及び介護福祉士法以外の法制度 リスクマネジメント ヒヤリハットアクシデント			10	【到達目標】 医療的ケア全体の知識を深める。喀痰吸引と経管栄養について理解できる。 【授業内容】 第32回問題 解答解説		
3	【到達目標】 感染予防の基礎知識 消毒法 滅菌と消毒の違いが理解できる。 【授業内容】P62～P78 清潔保持と感染予防 ガウンテクニック			11	【到達目標】 医療的ケア全体の知識を深める。喀痰吸引と経管栄養について理解できる。 【授業内容】 第33回問題 解答解説		
4	【到達目標】 人工呼吸や子供の吸引、子供の経管栄養について理解できる。 吸引を受ける利用者や家族の気持ち理解できる。 【授業内容】P107～P126 P185～P191 人工呼吸と吸引 子どもの吸引・経管栄養について 吸引・経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意			12	【到達目標】 医療的ケア全体の知識を深める。喀痰吸引と経管栄養について理解できる。 【授業内容】 第34回・35回問題 解答解説		
5	【到達目標】 呼吸器系の感染と予防、喀痰吸引により生じる危険事故の安全確認、喀痰吸引にともなうケアが理解できる。 【授業内容】P126～P138 P159～P163 呼吸器系の感染と予防、喀痰吸引により生じる危険の種類とヒヤリハットアクシデント、痰を出しやすくするケア			13	【到達目標】 医療的ケア全体の知識を深める。喀痰吸引と経管栄養について理解できる。 【授業内容】 第36回・37回問題 解答解説		
6	【到達目標】 経管栄養に関係する感染と予防 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認が理解できる。 【授業内容】P191～P200 消化器の感染と感染予防、口腔ケアの重要性、経管栄養により生じる危険 リスクと対応例			14	【到達目標】 国家試験問題をふりかえる 【授業内容】 解答解説		
7	【到達目標】 半固形栄養剤による経管栄養について理解できる。 【授業内容】P181～P182 P268～P278 経管栄養で注入する内容について 経管栄養のケアの実施の手引き			15	【到達目標】 医療的ケア全体を理解し知識を深める。 【授業内容】 ・定期試験		
8	【到達目標】 救急蘇生 感染 リスクマネジメントのついて理解できる。 【授業内容】 中間試験			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	Growing up academy グローイングアップアカデミー	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	田村・内藤・保住
		授業 形態	講義	総単位 時間	30時間	開講区分 曜日・時間	前期 金曜 4限
学科・コース	介護福祉士科						
【授業の学習内容】 学内オレンジカフェ(認知症カフェ)を実施するために、後輩・クラスメイト同士で学び合い、教え合い協働することができる。 国家試験に向けて100%の合格を目指して学習する習慣を身に着ける。 過去問題や、模擬問題、通常授業の学習を繰り返し行うことで、効率よく自分にあった学習方法を見つけることができる。 卒業して、職業人になった後も学びは続くので、そのときの力にすることができる。							
【到達目標】 オレンジカフェを実施する上で、先輩から後輩へ引き継ぐのでティーチングスキルを身に付けることができる 1年生の振り返りをしながら、記憶の定着をすることができる 自分らしい勉強方法を見つけることができる 学生同士協力しながら、目的・目標を達成することができる							
【使用教科書・教材・参考書】 各教員担当から指示がある				【授業外における学習】 各担当教員から指示がある			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】オレンジカフェの準備 ①グローイングアップアカデミー授業の意味を理解する ②国家試験に向けてのスケジュールリング 【授業内容】 年間スケジュールの確認 オレンジカフェの準備			9	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】		
2	【到達目標】 オレンジカフェの準備・新入生歓迎会 新入生歓迎会を行い、後輩との親睦を深めることができる。 シミュレーションを行い、運営上の課題を発見することができる。 【授業内容】 次回の本番に向けて最終調整する。			10	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】		
3	【到達目標】 オレンジカフェ オレンジカフェの運営をスムーズに行うことができる。 参加していただいた方々を楽しませることができる。 【授業内容】 Aチームが運営、Bチームは次回の準備			11	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】		
4	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】			12	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】		
5	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】			13	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】		
6	【到達目標】 オレンジカフェの準備 シミュレーションを行い、運営上の課題を発見することができる。 【授業内容】 次回の本番に向けて最終調整する。			14	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】		
7	【到達目標】 オレンジカフェ オレンジカフェの運営をスムーズに行うことができる。 参加していただいた方々を楽しませることができる。 【授業内容】 Bチームが運営			15	【到達目標】 これまでの授業を振り返り、試験(筆記試験、実技試験)に望むことができる 【授業内容】 定期試験		
8	【到達目標】 これまでの授業を振り返り、試験に臨むことができる 【授業内容】 中間試験			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	Growing up academy (後期)グローイングアップアカデミー	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	保住・田村
学科・コース	介護福祉士科	授業 形態	講義	総単位 時間	30時間	開講区分 曜日・時間	後期 金 3限
【授業の学習内容】 国家試験に向けて100%の合格を目指して学習する習慣を身に着ける。 過去問題や、模擬問題、通常授業の学習を繰り返し行うことで、効率よく自分にあった学習方法を見つけることができる。 卒業して、職業人になった後も学びは続くので、そのときの力にすることができる							
【到達目標】 クラス全体で協力しながら、学習の習慣をつけることができる 国家試験までカウントダウンが始まる中で、誰一人漏れることなくモチベーション維持することができる							
【使用教科書・教材・参考書】 各教員担当から指示がある				【授業外における学習】 各担当教員から指示がある			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 黒澤先生 人間の尊厳と自立・社会の理解			9	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 黒澤先生 人間の尊厳と自立・社会の理解		
2	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 白井先生 こころとからだ 発達と老化の理解			10	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 黒澤先生 人間の尊厳と自立・社会の理解		
3	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 白井先生 こころとからだ 発達と老化の理解			11	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 白井先生 こころとからだ 発達と老化の理解		
4	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 黒澤先生 人間の尊厳と自立・社会の理解			12	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 黒澤先生 人間の尊厳と自立・社会の理解		
5	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 白井先生 こころとからだ 発達と老化の理解			13	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 白井先生 こころとからだ 発達と老化の理解		
6	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 黒澤先生 人間の尊厳と自立・社会の理解			14	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 振り返り		
7	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 黒澤先生 人間の尊厳と自立・社会の理解			15	【到達目標】 これまでの授業を振り返り、試験(筆記試験、実技試験)に望むことができる 【授業内容】 定期試験 保住先生		
8	【到達目標】 これまでの授業を振り返り、試験(筆記試験、実技試験)に望むことができる 【授業内容】 定期試験 田村			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							